

# アシスト

市川市サッカー協会第4種委員会 委員長 石原孝幸

## — はじめまして —

みなさんこんにちは、市川市サッカー協会第四種委員長の石原孝幸と申します。はじめまして、という方もおいでと思いますが、私は市川市の小学校年代のサッカーに携わって三十数年になります。この度、ホームページをリニューアルするにあたり、四種委員会のコラム的なものを作り広く情報発信していこうという観点から、「委員長通信」という形でみなさんにお示しすることを考えました。

タイトルの「アシスト」は、「ゴールをアシストする」のアシストです。ゴールする者が主役で、アシストする者がサポート役とすると、主役を常にサポートするという意味です。主役は勿論子ども達。子ども達のサッカーを通したより良い成長をサポートする「委員長通信」でありたいと思います。また、実際に日々子ども達を指導している指導者の皆さんや、サッカー少年、少女を子育て中、あるいはこれからという保護者の皆さんのサポートもしていきたいという願いも込められています。発行は不定期になりますが、以後よろしくお願いします。

## — 理想のチームづくり① —

記念すべき第1回には、やはり目差したい理想についてお話ししたいと思います。

市川市サッカー協会第四種委員会には、現在36のチーム登録があり、小学生の児童約3000名が個人登録しています。市川市サッカー協会第四種委員会では、子ども達がサッカーと出会い、サッカーを楽しみ、仲間とともにサッカーを愛する子に育つように「指導者の育成」「審判研修」「大会運営」を3本柱として活動を続けています。

特に「指導者の育成」はとても重要と考えています。なぜかということ、子ども達のサッカー人生が始まるこの時期に、指導に携わる大人達には大きな責任があると思うからです。その後のサッカー人生を明るくするか暗くするかは、小学校年代の指導者に掛かっているとも思います。もしも、サッカーを嫌いにさせてしまったら、間違いなく指導者に非があります。

だからこそ、指導に携わる大人は、指導の勉強をしてもらいたい。では何を勉強すれば良いか。指導技術等の習得、個人戦術及びチーム戦術等の理解に加え、子どもが理解していく過程や、どうすれば子どもの意欲は向上するかという子どもの内面の学習も必要でしょう。

市川市サッカー協会第四種委員会では、「サッカー教室」と銘打って年9回サッカー指導者講習会を実施しています。各チームに参加を義務づけているのは、「指導に携わる大人達には大きな責任がある」からに他なりません。今年度も5月から実施しますので、ぜひご参加下さい。

市川市内の小学校に入学したり、転校したりしてきた子が、サッカーをやりたいと思ったら、身近に、叶えてくれるサッカーチームがある。しかも、そのチームの指導者は、自主性を伸ばしつつ、仲間とともにサッカーを上手にしてくれる。そして人として成長させてくれる。

これが私の考える市川市内の理想的な状態です。もちろん最初からこんなことを考えていた訳ではありません。約三十数年少年サッカーに関わり、多くの子ども達から教えられ、先人に学び、現在はこのような考えに至りました。次回からさらに縷々お話させていただこうと思っております。よろしくお願ひいたします。

「委員長通信」へのご意見ご質問は、FAXにて、四種委員会事務所までお願いいたします。 FAX 047-324-3207